

新宮町立新宮東中学校
令和8年7月3日 第20号
文責:江頭 俊輔

「ネットでの発言には気を付けましょう！」

前回、審判の判定に対するネットでの誹謗中傷について記載しました。現代は SNS が大流行し、誰しもが自分の意見を世界に発信することができる「人類総発信社会」となっています。日頃思ったことから、友達と遊んだ記録、よく分からない空の写真やスタバ?のコーヒーの写真など、SNS を開けば、誰かが発信したいろいろな情報を目にします。

江頭は「他人を不快にさせる投稿をしない」をそもそもの前提とした上で、SNSを使うことをおすすめします。（前回の通信でも伝えたように、なんでも発信していい権利をもっている訳ではないことをしっかりと理解する必要があります。）こういったネット利用について大切にすべきことをメディア・リテラシーといいます。今回は江頭が感銘を受けた分類をもとに、発信する側、そして受信する側の両面から気を付けたいことを確認しましょう。

全く見えないと思いますが、(わざとです。)右図はXでとても話題になった石榴 (@zaccoy2) さんの「クソリプ分類」です。どんなに当たり障りのないツイートも拡散されると変な返信が来るという法則を分類しています。中心には、「砂糖って甘いんだよあ」を元ツイートとし、この投稿にコメントされる返信を分類する形で分類は進みます。ぜひ、自分

自身がそのような投稿をしていないか、そして、こんな返信をされたら、「分類でいうと、、、」と少し余裕をもって対応できるようにしましょう。繰り返しますが、SNSでの他人を不快にする投稿はご法度です！

さて、分類からいくつか江頭が「わかる～」と共感したものを紹介します。まずは、

【主語決めつけ方】「甘く思わない人もいる。国民の総意みたいに言わないでほしい。」

です。そもそも国民の総意を述べるために、SNSを活用している人はどれくらいいるのでしょうか。勝手に大きな主語をもってこれると困りますよね。英語の I think that の必要性を地味に感じます。次に、

【自分語り型】 私は毎日砂糖を食べていますが、甘いと感じたことはないですよ ^^

意見が違うことは悪いことではないはずなのに、なんか「もやっ」としてしまいますのは江頭だけではないはず。

SNSは相手の表情が見えないから、これをどの感じで言っているのか分からないところにコミュニケーションを成立させる難しさがあります。違う考えを述べる時には、もっと丁寧に送るべし！です。そして、

【斜め上から型】世の中には味覚を感じられない人もいるんだが??

最後が「だが??」だと、とても威圧的に感じますよね。しかも「?」で終わっているの、何かこちらからも返信を返さないといけないのではないかという錯覚にも陥るのが SNS の怖いところです。以上、3つの分類を引用してきました。みなさんもそういう発信をしていませんか?逆にそういうコメントをされていませんか?

[自分なりのしっかりとした SNS 利用の心得を作るべし!]

GOAT として紹介したアルゼンチン代表リオネル・メッシ選手は SNS で審判の批判をはじめ、不快にさせるような投稿をしないことで有名です。江頭も他人を不快にさせる投稿をしない！と決めてはいますが、上で見たように「砂糖って甘いんだよなあ」でさえ、誰かを不快にしている可能性があります。そして、誰かを不快にしているから、という理由で返信をしてくる人がいます。みなさんも 15 歳なので、分かっていると思いますが、**面と向かって言えないことは言わない。今はとにかく勉強しよう！です。頑張れ受験生！**